

J R 連合

総がかりの運動を
強く広く
展開しよう!

<http://www.jr-rengo.jp>



J R 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook

JR連合

twitter

JR連合

連合は、1月7日、東京都内で「2019 新年交歓会」を開催し、各政党代表や駐日大使、政府関係者、経済団体、労働界などから約1000人が参集した。JR 連合からは河村滋喜事務局長、政所大祐企画部長、北村公次労働政策部長、中村鉄平交通政策部長が参加した。

冒頭、主催者を代表して神津里季生連合会長は挨拶に立ち、連合が本年30周年を迎えることをはじめ、I

「まもる・つなぐ・生み出す」 連合ビジョンを打ち出す



新たな安全考動計画のスタートに伴い、より一層のグループ各社との信頼関係作りを訴えた

J R 各単組で 2019 年の 活動をスタート

J R 西労組は、1月8日、大阪市内で「2019 年安全を誓い前進を期する集い」を開催した。JR 連合国会議員懇談会長の泉健太衆議院議員、同幹事の岸本周平衆議院議員、議員フォーラムの浜野喜史参議院議員、連合大阪、近畿交運労働協

LO 創設100周年、G20 にあわせて労働サミットが日本で開催されるなど、労働分野にとって重要な年になると協同した。また、連合が展開している Action 36 キャンペーンに因り、3月6日が「36 (サブロク) の日」として記念日認定されたことを紹介し、「長時間労働を是正し、過労死を日本から根絶させる」とキャンペーンに込めた思いを訴えた。さらに、連合では新たなビジョン策

連合2019 新年交歓会

J R 東海連合・J R 東海ユニオンは、1月10日、静岡市内で2019 年新春賀詞交歓会を開催し、JR 連合の松岡裕次会長と榎葉津也参議院議員 (JR 連合国会議員懇談会長)、金子慎 J R 東海代表取締役社長、角山雅典連合静岡事務局長、石黒基仁中部交運労働協

統一地方選・参議院選にむけ候補予定者が支援を求める

2019 年安全を誓い前進を期する集い
労働組合の社会的役割をあらためて発信



J R 四国グループで働く仲間の災害復旧にむけた尽力は大きな成果とし、カンパへの感謝も述べる

JR 北労組：新年交歓会 民主化の流れを 北海道に波及すべく積極的に

J R 北労組は、1月12日、札幌市内で新年交歓会を開催し、連合北海道、北海道交運労働、友誼団体、JR 北労組推薦の議員フォーラム所属議員や地方議員団連絡会所属議員らと、各地区

さらに、「世代交代が進む中で魅力ある運動をつくり、労働組合が組合員にとつただけでなく、社会にとつても有益な組織であることをあらためて発信していく」とし、2019 春季生活闘争においては「グループ労組に着目し、JR 西日本グループに相応しい賃金や労働条件を築いていく」と決意を示した。

J R 四国労組「2019 年新春セミナー」 復旧に組合員「丸」となって 取り組んだ成果を訴える

J R 四国労組は、1月12日、香川県宇多津町において、約1200人の参加のもと2019 年新春セミナー及び新年交歓会を開催した。JR 連合からは、河村滋喜事務局長、中村鉄平交通政策部長が出席した。

く要員配置・長時間労働の是正や、働き方の改善等について責任ある対応を誓った。そして、中期目標「UNION FUTURE 2027」に基づき、労働組合の強みを活かした「安全の確立」「組織の強化」「労働条件の改善」の取り組み、2019 春季生活闘争での労使交渉、参議院議員選挙における推薦候補者への支援に注力し、組合員主体の運動を磨きあげると力強く語った。

最後に、2019 春季生活闘争にむけベースアップはもとより、総合生活改善闘争として働き方の改善も求めていくと決意を述べた。

中濱執行委員長は挨拶に立ち、昨年発生した平成30年7月豪雨によって、30億円にも上る被害額が生じたことについて、厳しい経営環境の中、2年連続で自然災害が大きな影響を与えたとした。一方で、JR 四国グループで働くすべての仲間が尽力した結果、早期に開通できたことは大きな成果と語り、全国の仲間とともに救援カンパに取り組んだことは労働組合の原点である相互扶助の精神が示せたこと、組合員の理解と協力に感謝を述べた。



「JR 北海道再生プラン」「5つの新提言」の具現化を通じた企業風土改革に決意を示す

特集

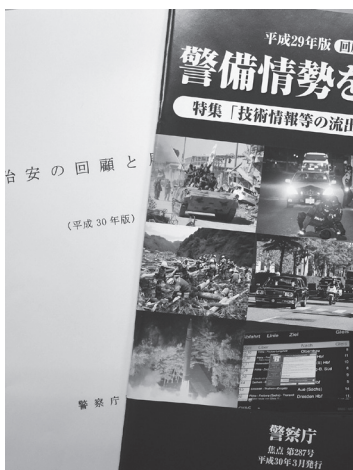
民主化闘争 48

変わらぬ体質・変わらぬ指摘

警察庁は、12月20日に「治安の回顧と展望（平成30年版）」を公表した。極左暴力集団・革マル派の項目として、組合員大量脱退が発生してもなお、JR総連・JR東労組への革マル派の浸透を指摘し続けている。一方、JR東労組の山口浩治中央執行委員長は、「革マル派が相当浸透している」とみられる全日本鉄道労働組合総連合会（以下「JR総連」という。）及び東日本旅客鉄道労働組合（以下「JR東労組」という。）は、同年6月にそれぞれ定期大会を開催し、JR東労組から3万人を超える組合員が脱退するという事態を受けて、革マル派創

設時の副議長である松壽明（元JR東労組会長（故人））が提唱した労働運動理論を基礎に組織再建に取り組み方針を決定した」

は、機関紙新年号で、昨春の経緯などについて触れ「残念ながら連合からの支援をいただくこともできず、指名ストについては避けてください」という指導もあり、原則的なストライキの意義が社会的には受け入れられなくなっている現実も明らかにしています」



繰り返し公的機関が公表しているJR総連・JR東労組の反社会性

と自らの組織運営を棚にあげて、連合の対応を批判するかのようになっている。また、JR総連の榎本一夫執行委員長は、機関紙新年号の挨拶の中で、「JR東労組前委員長をはじめとする一部『指導者』らによる組合運動の私物化ともいえる組合運営と自己保身の指導によって、JR東労組組合員が大量に脱退するという事態をつくりだしてしまいました」「誤った方針と誤魔化しの『指導』によ

て、多くの組員を失ってしまいました」と、あくまでもJR東労組旧執行部の一方的な判断であって、産別は無関係であるかのように述べつつ、組織破壊者とレッテル貼りした「JR東労組を憂う会」から、「連絡調整機関でしかないJR総連が、（中略）停そうに」と罵られたことを気にしてか、「指導」という言葉を強調しようだが、今さら「指導」といっても手遅れではないのか。「18春闘の

反省を踏まえ新生JR東労組を」といくら声高に叫んでも変わらぬ体質は警察庁だけでなく誰の目にも明らかである。昨春闘のスト権問題を未だひきずっているにもかかわらず、1月20日のJR総連加盟のJR東海労第34回臨時大会で、スト権の議論がなされたという話も漏れ聞こえている。JR総連は今春季生活闘争でどのような組織運営のもと運動を展開していくか見物である。

第2回男女平等参画推進委員会 誰もが働きやすい職場をめとして

1月17日、JR連合は、第2回男女平等参画推進委員会を開催し、2019春季生活闘争における男女平等参画に関わる方針内容、今後策定する新たな中期労働政策ビジョンなどについて協議した。2019春季生活闘争方針について、長時間労働の是正、法改正による年休取得のあり方、育児や介護と

仕事の両立支援、職場における男女平等の実現など、「社会生活の時間」の充実を含めたワーク・ライフ・バランスの実現と個々人の状況やニーズに合った働き方と処遇のあり方について、総体的な検討と協議を行っていくことを確認した。翌日は、鉄道やバス、タ

福岡県大牟田市

1月15日、JR連合及びJR九州労組（中央本部）は、大牟田市へと赴き、JR連合地方議員団連絡会に所属する松尾哲也大牟田市議会議員とともに、同市の公共交通と取り巻く環境等を把握するべく現地踏査を行った。

〇現地視察

まず、同市の中心部にある「大牟田駅」における利用者の流動、バスの利用状況等を視察

した。大牟田駅にはJR九州及び西日本鉄道の旅客列車が運行しており、それぞれ約6000人／日、約8500人／日が利用している。また

地方議員団と考える「チーム地域共創」 地域公共交通の課題と展望

井化学の専用鉄道を利用するコンテナ貨物も取り扱っている。駅前からは西鉄バスの路線バスが放射状に運行しているうえに、福岡空港に向かう高速バスは九州新

大牟田市との意見交換 また、大牟田市庁舎を訪ねし、

年前に公表された駅前地区の再開発事業は同市策定の中心市街地活性化基本計画の中核を担い、大きな柱として民間主体で進められてきた事業であるが、ホテルの建設を担う事業者が撤退意向を示すなど、厳しい局面となっている。

その後、相互に質疑を行い、交通政策に関する会議体への労働側の参画に対する必要性やインバウンドへの取り組み、道路網の発達に伴う市街地の郊外化について実情などを伺い、意見を交換し合った。とりわけ、地域のポラ

同市の交通政策担当者との意見交換を実施した。同市の地域公共交通網形成計画は2018年3月に策定され、5カ年の計画としていたこととあり、将来を見据えたまちづくりの観点から、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」と連携した「コンパクトシティプラスネットワーク」の実現を目指すことが強調されている。

大牟田市においては、より一層JR九州や西鉄との連携を図っていく必要がある。さらには九州新幹線を活用しながら交流人口を増やしていくことも活路の一つと考えられる。また、まちづくりの観点から計画を連動させる取り組みが進められていることから、今回お世話になった松尾市議とも連携し、「チーム公共交通」「チーム地域共創」の具現化にむけた取り組みが進められるよう、引き続きフォローしていく。



男女平等参画推進委員会メンバーで、女性が働くためのあ

家族の幸せを災害から守る 火災共済 オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障＋修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。



オプション保障（類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険＋修理費用）は、共済火災海上保険を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

B1424401E2144-20150209

交運共済 ニュース

職場環境の整備の重要性

活かした施策のひとつである。確保に資するJRグループ



みんなで暮らしをガード 交運共済 (JR職域生協) 全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

役員紹介



JREユニオン新潟地本 業務部長 金田友稔さん

新潟地本の金田友稔業務部長を紹介いたします。長く車掌をしていた金田部長は、現在は新潟駅の幹在同一ホームでお客様案内を務めています。新潟駅は昨年4月、JR東日本で初めてとなる新幹線と在来線が同一ホームで乗り換え可能となり、羽越本線特急「いなほ」をご利用されるお客様の利便性が向上しました。しかし、同時に進められている新潟駅

高架化工事完了（2021年度開業予定）までの暫定開業となっており、1番線工事のために幅の狭くなっている2番線の安全性についてお客様目線で問題点を見出し、会社に関わらず、安全確保にむけた具体的な提言を行ないました。それによって、現在は2番線に警備員が常駐しお客様の安全を見守っています。安全に対する業務部長としての

熱意の一端でもあります。何を隠そう御年57歳、年齢に比してあたらしく物好き、興味を持ったこととはとん探求していく「性格」にあると思います。特にパソコン関係に造詣が深く、年寄だらけの地本にあつては貴重な存在になっていると思います。また、最近釣りに道具を積んだ車を駆使して、海へ山へと出かけているらしいですが、釣果のご相伴に預かったことはありません。ともあれ、旺盛な探究心は組合担務である業務にも遺憾なく発揮され、執行部としては大変に頼もしい存在なのですが、論理に乏しい要求には完膚なきダメージが来るので恐れられている部長でもあります。